

上越市選出の5人の県議が県道新井柿崎線整備促進議員連盟の顧問に就任……総会で承認



県道新井柿崎線整備促進議員連盟（宮崎政國会長）の今年度の総会が24日、高田の高陽荘で開かれました。この日は連盟に加入している16人の議員のうち14人が参加、昨年度の決算、新年度の活動計画と予算案などの議案を審議し全会一致で承認しました。

同議員連盟は昨年6月に結成され、今年度は2年目の活動に入ります。総会では、連盟の顧問として先の県議選で当選された5県議から顧問に加わっていただくことが承認されました。

今年度の計画では、6月下旬に板倉区から柿崎区に至る全線を顧問の県議と一緒に視察し、7月から8月に新潟県土木部に働きかける予定です。また、秋には来年度予算編成をにらんで全体会も行います。連盟の活動経費は加入している議員の会費収入だけでまかなっていて、今年

度の予算総額は5万1000円です。総会後、新潟県上越地域振興局の鈴木啓一地域整備部長、金子進維持管理課長などから参加してもらい、「昨年度の要望についての報告会」が行われました。

この中で鈴木部長などは、「県道整備は住民生活を支える最も大事な基盤のひとつだが、財政状況が厳しい。補助事業はピーク時の半分にもなっている」「継続事業をやりくりするのが精一杯となっている」と苦しい胸のうちを明かしました。この日の会議に参加したある人は、「医者にかかっていたとしても、痛い時には痛いと言わなければ分かってもらえない」と声を出すことの大切さを言っていました。今年度の予算では常設型の防雪柵の設置が先送りされました。市民の目線で見て、声を大きくしていきたいと思えます。

鈴木昌司書簡も市指定文化財になりました

うれしいニュースです。25日の市教育委員会で、旧吉川町時代の指定文化財はもろろんのこと、新たに鈴木昌司の書簡も市の指定文化財となりました。

合併協議に基づいて、これまで市の準文化財扱いとなっていた旧吉川町時代の指定文化財は頭法寺の般若経など23件。調査段階では、保存が困難な無形文化財をどうするかという議論もありましたが、文化財調査審議会は、これらを含

め、すべて市指定文化財とすべきとの答申を出しました。これを受け、市教委の決定が出ましたが、新たに指定された鈴木昌司の5通の書簡は自筆漢詩軸二幅とともに「鈴木昌司筆墨跡」としてくくられました。

この外、今回の指定に伴い「種別」や「名称」が変わったものがあります。

郷土料理を楽しむ集い

次回は吉川区のものが対象

第7回郷土料理とバイキングを楽しむ集いが23日、デュオ・セレッソで600人近い人を集めて行われました。吉川区からは15人ほどが参加しました。

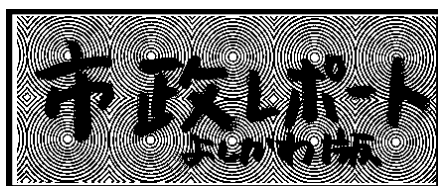
今回は柿崎区と大島区の郷土料理がとりあげられました。11月14日の次回は吉川区と三和区のもものが対象で、吉川区の自慢料理の紹介は私が担当します。



写真は、会場で源のサルナシワインが紹介されているところ（23日、橋爪が撮影）

30日、31日と区内の市の道の視察を行います

30日は旭、竹直、勝穂、泉谷、吉川地区を、31日は東田中、源、水源、川谷地区をこの順に見て回ります。問題があれば、行政に取り組みよう伝えます。



NO 1296
2007.5.27

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
TEL 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www1.ocn.ne.jp/~hose/